

1	組 織 名 称	日本スマートフォンセキュリティ協会 Japan Smartphone Security Forum (JSSEC) http://www.jssec.org/index.html			
2	分 類	活動目的	ブリ標準化	対象分野	情報通信(加入者系 関連)
	技 術 M A P	活動エリア(注1)	2	活動技術(注2)	3
3	目 的	<p>スマートフォンの安全利用促進のための情報セキュリティ側面の調査、研究、議論し、ガイドラインを作成することで、日本でのスマートフォン利用を安全なものにする。主に業務利用が安全に出来るような情報を収集し提供。</p> <p>目的は以下の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業・団体における利用者が安心して高度なサービスを受けられるようにする。 ・実装すべきセキュリティレベルの理解を社会に浸透させ、提供者が安心して事業推進を行えるようにする。 ・利用者のセキュリティリテラシー向上のための活動も行き、さらに高度なサービスを受けられるようにする。 ・セキュリティを切り口とした「信頼できるニッポン！」を確立しグローバル市場へアピールする。 			
4	組 織	<p>4つの部会から構成されている。</p> <p>1) 利用部会: スマートフォンの安全利用促進のための「事実」に基づいた情報収集と発信。</p> <p>ア) 利用ガイドラインWG スマートフォンの利用状況に沿った安全利用のためのガイドラインを策定</p> <p>イ) 事例研究WG ・導入事例についての調査・研究を実施</p> <p>2) 技術部会: スマートフォンの安全利用のための技術的調査・研究・議論を実施。</p> <p>ア) ネットワークWG スマートフォンを安全に利用するための技術的な調査・研究・議論を行う。具体的には4ワークグループで構成し成果物を公開する事で、日本におけるスマートフォン利用の安全性向上に寄与する</p> <p>イ) アプリケーションWG 主に、ネットワークに関するセキュリティ側面の情報収集、対策検討、情報提供等を通じて、スマートフォン利用の安全・安心に寄与</p> <p>ウ) デバイスWG 主に、デバイス(端末)に関するセキュリティ側面の情報収集、対策検討、情報提供等を通じて、スマートフォン利用の安全・安心に寄与</p> <p>エ) 脆弱性WG 主に、スマートフォンにおける脆弱性について情報収集、情報提供を通してスマートフォン利用の安全・安心に与寄</p> <p>オ) マルウェア対策WG スマートフォンマルウェアに関する時事問題等に関して情報発信の強化を検討</p> <p>3) パブリックリレーションズ部会: JSSECで行われている活動を知って頂くための情報配信を行う。</p> <p>ア) マーコムWG JSSECの各部会/WGからの情報をタイムリーに配信し情報の展開を通じてJSSECの活動を啓発していく。</p> <p>イ) 調査分析WG スマートフォンの利活用に関する利用実態を調査し、リアルな実態を反映した統計データを提供する</p> <p>ウ) メディアリレーションWG JSSECの活動を報道関係者を通じて、広く普及・啓発していく</p> <p>4) 啓発事業部会: JSSECがスマートフォンの安全利用を推進し広く社会に貢献するため、積極的に啓発活動展開を行う</p> <p>ア) 教育事業WG 大学生が主体となり、ワークショップを通じて小・中学生、高校生(つまり青少年)を対象とした、スマートフォンを安心かつ安全に利用するための啓発活動のプロ</p>			

		グラム化 社会環境整備への関与[教育産業](検討中)
5	参加資格	幹事会員:運営と活動に参画する企業及び団体 入会金 120,000円 年会費 240,000円 正会員:活動に参画する企業及び団体 入会金 30,000円 年会費 60,000円 http://www.jssec.org/join/
6	主要メンバー (2017年5月現在) (注3、注4)	会長:安田浩(東京電機大学) 副会長:井上栄 富士通(株)、島野公志 ソフトバンクモバイル(株)、江戸研治(株) シャープ、廣松竜治(株)NTTドコモ、山田靖久 KDDI(株) 幹事会社:26社 正会員:81社 下記Web参照。 http://www.jssec.org/members/ 特別会員:19団体 オブザーバ:7団体
7	他団体・組織との 関 係	総務省、経済産業省がオブザーバ参加
8	TTC活動との 関 連 性 (注5)	■TTCの専門委員会活動と関係あり セキュリティ専門委員会 □なし
9	活 動 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2016/12/12 2017年2月8日開催 JSSEC セキュリティフォーラム 2017 ■ 2016/05/12 JSSEC セキュリティシンポジウム 2016 講演のビデオを公開しました。 ■ 2016/05/11 JSSEC セキュリティフォーラム 2016 ■ 2016/03/08 JSSEC 技術部会『セキュアコーディングデイ』を開催 ■ 2016/02/19 JSSEC 啓発事業部会『スマートフォン セキュリティ シンポジウム』を開催 ■ 2016/02/05 JSSEC セキュリティシンポジウム 2016
10	設 立 時 期	2011年5月25日
11	本 部 所 在 地	一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会事務局 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー TEL: (03)6757-0159 E-mail: sec@jssec.org
12	関連標準化技術	Androidアプリのセキュア設計・セキュアコーディングガイド(日本語版・英語版)
13	備 考	不明
14	更 新 年 月	2017年10月

(注1)活動エリアは以下から最も適当な項目を選択し、その番号を記入のこと。

- 2: モバイル系領域を中心に活動を実施
- 1: モバイル系領域の活動を主に、固定系領域の活動も実施
- 0: モバイル系、固定系の両領域にまだがって活動実施
- 1: 固定系領域の活動を主に、モバイル領域の活動も実施
- 2: 固定系領域を中心に活動を実施

(注2)活動技術は以下から最も適当な項目を選択し、その番号を記入のこと。

- 3: APL(アプリケーション)領域の活動を実施
- 2: APL領域の活動を主に、MDL(ミドルウェア)領域の活動も実施
- 1: APLとMDLの両領域の活動を実施
- 0: MDL領域の活動を実施
- 1: NW(ネットワーク)領域の活動を主に、MDL領域の活動も実施
- 2: NW領域の活動を実施

x: 該当せず等

(注3) 日系企業とは親会社が日本企業かどうかで判断する。

(注4) 「TTC活動との関連性」とはTTCの専門委員会やアドバイザリーグループの活動と関連しているかを示す記載とし、理由には具体的な専門委員会名、アドバイザリーグループ名と関連している部分等を記載する。